

平成27年4月16日

在南アフリカ日本国大使館

大使館からのお知らせ（最近の外国人排斥を巡る社会情勢についての注意喚起）

1 既に報道等でご承知の通り、今年に入って以降、ソウェトのタウンシップ(黒人居住区)において、主に周辺国を含むアフリカ諸国からの移民が経営する小売店が略奪に遭う事件が発生しました。

2 その後、3月にズールー族の王が外国人排斥を黙認するかのような発言を行ったとの報道がなされて以降、特にクワズールー・ナタール州ダーバン近郊で地元住民による攻撃で外国人に死傷者が出たり、何千人もの外国人が自宅から避難所に避難するなど外国人を排斥する動きに発展してきています。

こうした中、14日にはダーバンCBD(中心部)で外国人排斥を求める地元住民による外国人オーナーの商店に対する略奪行為、それを取り締まる警官隊との衝突が発生しました。さらに、15日にはヨハネスブルグCBDでも同様の脅威を否定できないとする外国人小売店主が店を閉める等緊張感が高まり、実際に外国人に対する投石が行われたり、ピーター・マリッツバーグCBDでも一部商店の略奪が行われたとの報道も見られます。

3 これまでのところ、日本人はこうした外国人排斥の対象にはなっていないと考えられ、日本人に対する直接の脅威があるわけではありませんが、今回の事態の背景には広く蔓延している社会不満があり、外国人排斥という形で表面化してきていると考えられますし、各地に飛び火する気配も見られます。

4 つきましては、在留邦人の皆様におかれては、次の諸点に注意し、くれぐれもこうした事態に巻き込まれることのないよう、ご家族を含め慎重な行動を心がけ、安全確保に努めるようお願いいたします。

- (1) 日本人は外国人排斥の対象になっていないから大丈夫と安易に受け止めることなく、報道を注意深くフォローし、会社・組織の同僚、家族との間で情報を共有し、連絡体制を再確認する。
- (2) タウンシップには立ち入らない。また、これまで外国人排斥による略奪や警官との衝突が行われた地区にはCBDであっても当面近づかない。
- (3) 常に自宅や職場周辺、通勤経路となる地区の状況に注意する。
- (4) 外国人であることを自覚し、公共の場で人種差別的な言動を取らない。

(了)